

山形県立山形西高等学校第 65 回卒業証書授与式が挙行されました

平成 31 年 3 月 1 日（金）本校体育館で、第 65 回卒業証書授与式が挙行されました。

例年になく雪のない穏やかな日差しの中、3 年生 231 名全員が、思い出深い学び舎を旅立っていきました。

卒業証書の授与では、卒業生 1 人ひとりが登壇し、担任から名前が呼ばれると、大きな声で「はい」と返事をし、卒業証書を受け取っていきます。

津田浩校長は、式辞で、社会の中で様々な人と関わりながら課題を見つけ解決に向けて活動できるよう「学び続けてほしい」、そして、「山形を愛する心を持ち続けてほしい」と激励し、最後に「私のこの 1 年間の思い出には、一つ一つ君たちが映っている。ありがとう。」と感謝の気持ちで締めくくりました。後援会長の熊谷誠様、同窓会長の鈴木よし子様そして PTA 会長の岡崎明様が、それぞれの立場から卒業生への激励の言葉をいただきました。

卒業生を代表して前校友会会長は、「変える」をスローガンに私たちは頑張ってきた。自分たちの生活を見つめ直し、そのうえで、各種行事や校則なども真剣に話し合いを重ね、行動を起こしてきた。そのことに達成感を感じている。西高生活は辛いこともあったが、自分たちは確かに成長した。西高生活の厳しい毎日を乗り越えてきたことを誇りに思う。とこれまでの 3 年間で振り返り、「後輩たちも、仲間を信じ、真剣に全力で駆け抜けろ。」と後輩たちにエールを送りました。

西高伝統の校歌の美しい合唱が式の厳粛さを際立たせ、「仰げば尊し」を卒業生と在校生が気持ちを交わしあうように歌い上げると、思わず涙がこみ上げ、会場全体が感動に包まれました。厳粛な中にも心温まる卒業式となりました。

